

本時のねらい

順序を表す言葉をもとに、順序の関係を捉えることができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・ロイノートでカード化した文章を、話の順に並び替える。
- ・順序を考える際は、順序を表す言葉にタッチペンで印をつけたり、カードに順番を記入したりする。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ロイノート
- ・大型提示装置
- ・タッチペン

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○前時の復習をする。 ○本時のめあてを確認する。 めあて「文しょうを正しいじゅんじょにならびかえよう」 【写真1】	○学習計画(※)を提示し、前時の活動から本時のめあてにつなげる。 ※単元全体を通して、どんな学習をするのかをまとめた計画表
展開 (35分)	○順序をバラバラにしている6つの文章を正しい順に並び替える。 ○ヒントになる言葉(順序を表す言葉)に線を入れる。 (例:「春になると」「二、三日たつと」「やがて」など) 【写真2】	○カードを並び替えやすいように、事前に別のカードに枠を作成しておき、その枠内に順番に入れる。 また、余白に順番を表す数字を記入する。 ○順序を表す「文」ではなく、「言葉」に注目するよう、色線を入れる。
まとめ (5分)	○順序を並び替えたカードを、学習計画に入れる。 ○ふりかえりをする。 ふりかえり項目:「じぶんでかながえることができた」 「ともだちにつたえることができた」 【写真3】	○これまでの活動内容を記録していたデータ(学習計画)に本時の学習データを入れることで、次の学習につなげることができる。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】これまでの学習を振り返り、今回のめあてを確認している場面



【写真2】順序を表す言葉に線を入れ、並び替えた理由を説明できるようにしている場面



【写真3】これまでの活動内容を記録していたデータに本時の学習データを入れている場面

児童生徒の反応や変容

- ・言葉や文章を拡大・縮小することで、注目して読んだり細かく線を加えたりすることができていた。
- ・前回の授業で教科書の挿絵を並び替える作業をしていた。その内容を見返して、今回の活動につなげている児童の姿も見られた。
- ・データ上で色線を引くことで、児童どうして交流する際、順序を表す文を自由に強調することができ、説明しやすい様子だった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・文章構成(今回の内容では「順序」)を考える授業では、教科書をそのまま使用すると答えがすぐにわかってしまうことや、紙を切り貼りする作業になると、文章構成を考えるという本題よりも、切り貼りする作業に集中してしまうおそれがある。そのような状況が予想されるため、今回の端末活用は非常に効果的であると感じた。
- ・カードを移動させる目安となる枠を作っておくと、より作業の効率化を図ることができる。